

【参考資料】地方公共団体アンケート調査票

※この調査票は全ての設問項目まとめたものである。調査時においては、各部署に該当する設問項目を抽出して部署別の調査票を作成して配布した。

地球温暖化の影響の把握や対応に関する地方公共団体アンケート調査

【参考】フルメニュー

地球温暖化の影響により世界中で様々な影響が現れています。我が国も例外ではなく、環境省の検討結果からも、地域ごとに異なった影響が現れることが明らかとなっています。

特に、九州・沖縄地方は海面水位の上昇に加え強い台風が来襲した場合の高潮浸水被害や気温上昇に伴う熱中症などの熱ストレス死亡リスクの増加が他の地域と比較して大きな影響が出ることが想定され、当該地域は環境ハザードの最前線に位置しています。

このため、温室効果ガスの排出を抑制する取組（＝緩和の取組）の推進とともに、既に起こりつつある、あるいは起こりうる温暖化の影響に対して自然や社会のあり方を調整する取組（＝適応の取組）の推進が求められています。

これらを受けて環境省九州地方環境事務所では、平成21年度から他の地域に先駆けて「九州・沖縄地方の地球温暖化影響・適応策検討会」を設置し、有識者や行政機関が持っている地球温暖化の影響や対応の取組に関する情報を共有しています。

今年度は上記の取組に加え、地球温暖化の影響の把握や対応に関する地方公共団体の課題等を把握することを目的に、九州・沖縄の各県及び政令指定都市（次年度移行予定の熊本市を含む）の関係部署を対象にアンケート調査を実施することになりました。

なお、このアンケート調査で得られた情報は、「平成23年度九州・沖縄地方の地球温暖化影響・適応策検討調査業務」の報告書作成の資料として活用させていただきますが、個々の地方公共団体の情報が公開されることはありません。

アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成23年11月 環境省九州地方環境事務所 担当：寺西、高木
(請負先) 財団法人九州環境管理協会 担当：保田

問1. 近年、大雨や猛暑日の増加など極端な現象や気候の変化が起こっているといわれています。こうした極端現象・気候の変化による影響に対して、貴地方公共団体の地域で心配な項目はどれですか。
【あてはまるものすべてにチェック】

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 災害リスク（大雨による浸水や土砂流出、異常潮位、台風の強大化など） | <input type="checkbox"/> 2. 渇水リスク（水資源の不足） | <input type="checkbox"/> 3. 海岸や砂浜の消失リスク（海面上昇による異常潮位、海岸や砂浜の浸食など） |
| <input type="checkbox"/> 4. 林業への悪影響（シカによる被害、マツクイムシなど病害虫による森林被害、ブナ等自生種の衰退 など） | <input type="checkbox"/> 5. 生態系への悪影響（生物の分布域の変化、南方系の種の侵入 など） | <input type="checkbox"/> 6. 水産業への悪影響（水温上昇などによる漁種の変化、回遊魚の生息域の変化など） |
| <input type="checkbox"/> 7. 農業への悪影響（農作物の生育不良など） | <input type="checkbox"/> 8. 畜産業への悪影響（家畜の生産性の低下など） | <input type="checkbox"/> 9. 健康への悪影響（熱中症、動物媒介性感染症（マラリア、デング熱、チクングニア熱等） など） |

問2. 以下の項目のうち、気候の変化などに伴って貴地方公共団体の地域において、①現実に起きており、かつ、深刻と考えている現象、②今後深刻になると考えている現象がありますか。
【①・②それぞれについてあてはまるすべての項目番号を記載】

<気候・災害・水資源分野>

- | | | |
|------------------------|----------------------|---------------------|
| 1. 年平均気温の上昇 | 2. 真夏日、猛暑日、熱帯夜の増加 | 3. 冬日の減少 |
| 4. 集中豪雨や局地的大雨の増加 | 5. 降雪量の変化 | 6. 台風の規模・頻度・ルートの変化 |
| 7. 台風による風倒木被害の増加 | 8. 大雨による土砂崩れ等斜面災害の増加 | 9. 大雨による低平地の浸水被害の増加 |
| 10. 大雨による河川氾濫の増加 | 11. 大雨による地下空間浸水被害の増加 | 12. 海面上昇による高潮被害の増加 |
| 13. 海面上昇による越波量の増加、海岸浸食 | 14. 海面上昇による砂浜の消失 | 15. 水資源の不足 |

<森林・水産・生態系分野>

- | | | |
|---------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 16. マツクイムシなど病害虫による森林被害 | 17. シカ等の野生鳥獣による森林被害 | 18. シイタケ生産量への影響 |
| 19. 南方系魚介類や海草類の増加 | 20. 水温上昇などによる魚種の変化、回遊魚の生息域の変化 | 21. 水温上昇によるノリ養殖適期の変化 |
| 22. 水温上昇による赤潮の増加 | 23. 生物や生態系の分布の変化 | 24. 気温上昇による希少植物の減少 |
| 25. 気温上昇による南限種の生息・生育環境の消滅 | 26. ブナ等自生種の生育状況・分布の変化 | 27. 生物季節（サクラの開花、紅葉、鳥の産卵時期等）の変化 |
| 28. サンゴの白化現象等固着性海洋生物種の変化 | | |

<農業分野>

- | | | |
|----------------------------|-------------------------|-----------------|
| 29. 水稲や野菜の生育不良、収量の減少、品質の低下 | 30. 果樹の生育不良、収量の減少、品質の低下 | 31. 農作物の収穫時期の変化 |
| 32. 農業用水取水可能量の変化 | 33. 家畜の乳量の減少、繁殖成績の低下 | |

<健康分野>

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 34. 熱ストレスによるリスク（熱中症患者など）の増加 | 35. 動物媒介性感染症患者の増加 |
|-----------------------------|-------------------|

① 現実に起きており、かつ、深刻と
考えている現象の項目番号 →

① 1～35以外で現実に起きており、かつ、
深刻と考えている現象（具体的に） →

② 今後深刻になると考えている現象の
項目番号 →

② 1～35以外で今後深刻と考えている現象
（具体的に） →

問2-2. 貴部署では以下の項目について定期的に情報収集していますか。なお、定期的な情報収集には毎年の統計や白書等を作成するために情報収集するような場合を含みます。【あてはまるものすべてにチェック】

<気候・災害・水資源分野>

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 年平均気温 | <input type="checkbox"/> 2. 真夏日、猛暑日、熱帯夜 | <input type="checkbox"/> 3. 冬日 |
| <input type="checkbox"/> 4. 海水の水温 | <input type="checkbox"/> 5. 雨量 | <input type="checkbox"/> 6. 降水量 |
| <input type="checkbox"/> 7. 降雪量 | <input type="checkbox"/> 8. 台風の規模・頻度・ルート | <input type="checkbox"/> 9. 台風による風倒木被害 |
| <input type="checkbox"/> 10. 大雨による河川災害、土砂災害、浸水被害 | <input type="checkbox"/> 11. 高潮被害 | <input type="checkbox"/> 12. 水源の貯水量 |
| <input type="checkbox"/> 13. 都市の熱環境（ヒートアイランド現象） | | |

<森林・水産・生態系分野>

- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 14. マツクイムシなど病害虫による森林被害 | <input type="checkbox"/> 15. シカ等の野生鳥獣による森林被害 | <input type="checkbox"/> 16. シイタケ生産量への影響 |
| <input type="checkbox"/> 17. 南方系魚介類や海藻類の分布 | <input type="checkbox"/> 18. 水産資源の回遊ルート | <input type="checkbox"/> 19. 赤潮の発生状況 |
| <input type="checkbox"/> 20. 生物や生態系の分布 | <input type="checkbox"/> 21. 希少動植物の分布 | <input type="checkbox"/> 22. ブナ等自生種の生育状況・分布 |
| <input type="checkbox"/> 23. 生物季節（サクラの開花、紅葉、鳥の産卵時期等） | <input type="checkbox"/> 24. サンゴ等の固着性海洋生物の生息・生育状況 | |

<農業分野>

- | | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 25. 水稲や野菜の生育状況や収量、品質 | <input type="checkbox"/> 26. 果樹の生育状況や収量、品質 | <input type="checkbox"/> 27. 農作物の収穫時期の変化 |
| <input type="checkbox"/> 28. 農業用水取水可能量 | <input type="checkbox"/> 29. 家畜の乳量や繁殖成績 | |

<健康分野>

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 30. 熱ストレスによる被害者数（熱中症患者など） | <input type="checkbox"/> 31. 動物媒介性感染症患者数 | <input type="checkbox"/> 32. ウイルス媒介生物（蚊など）の分布 |
|--|--|---|

問3. 貴部署の関連計画に地球温暖化に関する記述がありますか。【あてはまるもの一つにチェック】

<※関連計画の例>

総合計画、地域防災計画、国土利用計画、土地利用基本計画、都市計画、緑の基本計画、海岸保全基本計画、水道事業計画、地域森林計画、森林整備計画、松くい虫被害対策事業推進計画、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、地球温暖化対策地域推進計画、生物多様性地域戦略、自然環境保全計画、エコロジカル・ネットワーク計画、ビオトープ計画、自然再生事業実施計画、特定鳥獣保護管理計画、河川整備計画、食料・農業・農村基本計画、水産振興計画、熱中症予防の指針・計画、感染症予防計画、教育・学習計画・指針、住宅マスタープラン など

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 有 | <input type="checkbox"/> 2. 無 |
|-------------------------------|-------------------------------|

問3-2. 問3で「1. 有」を選択された方は、計画名と記載箇所（例：計画全体にわたって、現状と課題の部分、基本方針の部分、目標の部分、施策の部分 など）をご記入ください。

問4. 貴部署では地球温暖化の影響や対応に関する条例がありますか。【あてはまるもの一つにチェック】

- | | | | |
|--|----------|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. ある | (条例の名称→) | <input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/> | <input type="checkbox"/> 2. 制定を検討中 |
| <input type="checkbox"/> 3. 現在はなく、制定の予定もない | | | |

九州・沖縄地方の地球温暖化影響・適応策検討調査とりまとめ（H21～H23）
地球温暖化による九州・沖縄地方への影響を知り、適応を進めるために

発行 平成24年3月

環境省 九州地方環境事務所

〒862-0913 熊本県熊本市尾ノ上1-6-22

TEL：096-214-0332 FAX：096-214-0349

<http://kyushu.env.go.jp/>